

製鉄記念広畑病院閉院後の後医療問題

住民の声は “診療科目の充実を!!”

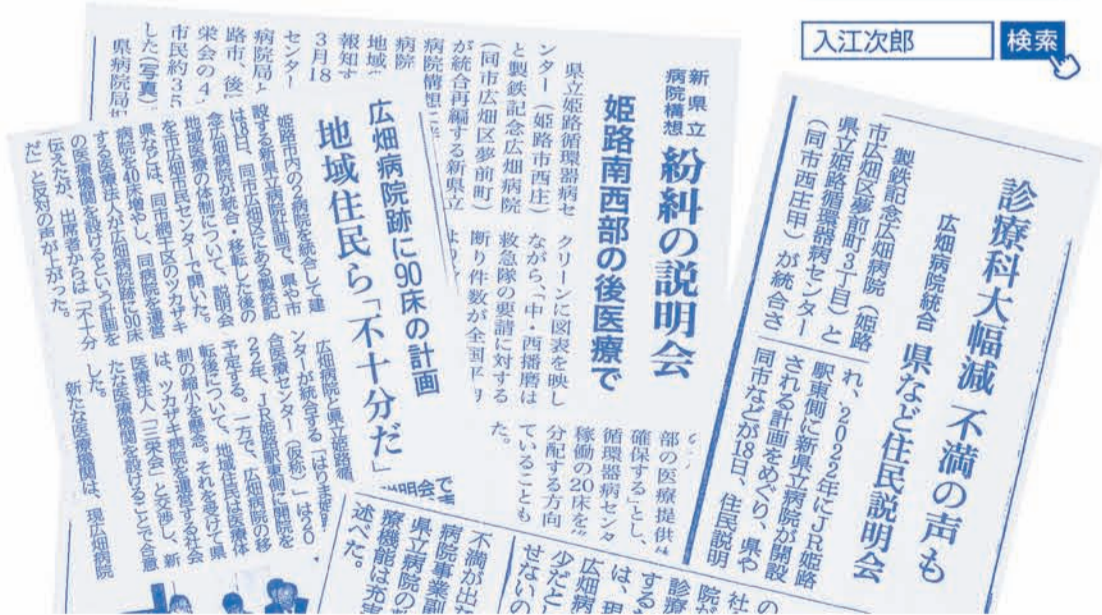
製鉄記念広畑病院閉院後の後医療機関にツカザキ病院(三栄会=裏面表①)が内定し、3月18日広畑市民センターで兵庫県、姫路市、製鉄記念広畑病院、ツカザキ病院4者主催による住民説明会が開催されました。



広畑市民センターの住民説明会には約400人が参加

県は説明会で「後医療機関と網干のツカザキ病院の連携をしっかりと行ってもらう。網干にあるツカザキ病院に外科等の医療機能や高価な医療機器を集約した方が医療機能を2倍も3倍も発揮できる。機能を分散すれば医療機能は半減してしまう。重篤患者については平成34年度開院予定の新県立病院(姫路駅東800m付近に整備予定・裏面表③)で対応する」旨の考えを示しました。

しかし、県による説明後、住民からは「製鉄記念広畑病院は28診療科(裏面表②)あったけれど、わずか7診療科になってしまう。外科も産婦人科も麻酔科もなくなる。これでは県が住民に約束してきた”製鉄記念広畑病院が担ってきた医療機能の確保”(裏面表④)にはならない。約束を守って診療科目を増やすべきだ」等々、議事進行が混乱するほど質疑、意見が次々と出されました。これに対し県は「出発点が7診療科であって、ツカザキ病院に対し診療科目を増やすよう求めていきたい」と答弁。一方で姫路市は「診療科目を増やすことは考えていない」と、県とは食い違う答弁を繰り返しましたが、住民らに詰め寄せられ最終的には「協議したい」と答弁を修正しました。



3月19日付朝日・神戸新聞、21日付播磨時報

入江次郎

県会議員
入江次郎
県政報告
日本共産党
5月号
発行
姫路市本町 201
じょうかまち
編集委員会
TEL288-4110

地域医療を守ろう!! 診療科目28科目→7科目へ 大幅減

製鉄記念広畑病院は、現在28診療科目あります。平成26年度の手術実績は、整形外科手術件数1034件(全手術件数に占める割合24.3%)、外科887件(20.8%)、形成外科503件(11.8%)など外科系手術の割合が約60%を占めています(裏面表⑤)。その他にも、耳鼻咽喉科376件(8.8%)、産婦人科286

件(6.7%)、麻酔科など28診療科ありますが、製鉄記念広畑病院閉院後の後医療機関では総合診療科、消化器内科、循環器内科、神経内科、眼科、人工透析内科、リハビリテーション科の、7診療科へと大幅に削減され、外科も麻酔科もないため手術処置もできません。入院ベッド数は392床から100床へ医師数も

69人から10人へ削減されます。入江次郎県議、谷川まゆみ、森ゆき子、苦瓜かずしげ各市議は、県知事、病院事業管理者宛てに「診療科目の充実を」と繰り返し要望書を提出するなど住民の皆さんの声を県政に届けてきました。地域から「地域医療を守れ!診療科目充実を!」の声を広げ地域医療を守りましょう。